

都道府県トレセンを活用した3級審判インストラクター認定・更新講習会① 報告書

1. 日 時 令和7年10月18日（土） 18時半～21時
2. 場 所 F Kホールディングス 生涯学習センター「きらん」小会議室
3. 参 加 者 講 師：村山 尚哉（HKFA 審判委員会指導者部、1級審判インストラクター）
受講者：6名 ＊オブザーバー 2名
4. 研修内容 **主な研修内容は以下のとおり。**
※開講式、自己紹介
講義① ・サッカーを理解するメリット（サッカーの4曲面と球際）
講義② ・事象分析の進め方、事象分析例
講義③ ・映像から振り返りポイントを考える（ディスカッション）
※振り返り、閉講式、解散



本講習会1回目は室蘭地区（東室蘭市）にて8名の受講者（更新6、新規2）計8名の参加により開催しました。室蘭地区審判委員長鈴木氏にもご参加いただきました。参加者の方々も室蘭地区で長期にわたり地区のため、審判員のために日々活動、貢献されている方々で、ひとつひとつの講義に熱心に取り組む姿勢に刺激を受けました。講義①では現在、全国大会等でもテーマとされている『サッカーの4曲面、球際』について説明させていただきました。よりサッカーを知ること、判定はもちろん、動きやポジショニングにも繋げていけるメリットがあることを共通理解として念頭におくことの重要性をお伝えしました。講義②では前回同様、実際の試合の事象をどのように分析し、的確な判定に結びつけるかを共有しました。『事実の確認、考慮事項に基づいて・正しい判断判定、事象を見極めるための難しさや分析のポイント、次の試合に生かせること（改善のヒント）は何か？』この5つのポイントで整理していきます。講義③では試合の一部分を視聴していただき、審判員の良い点、課題点を見つけて実際の振り返りでどんな言葉をメッセージとして伝えるかをディスカッションも交えながら考え、整理して行きました。大きく3つのテーマで講義を行いました。参加者の皆さんは最後まで真剣な眼差しで、積極的に参加していただき素晴らしい講習会になりました。準備等で協力いただいた地区の皆様には感謝申し上げます。ありがとうございました。今後ともよろしくお願いいたします。

■鈴木 宏 氏

有意義な時間でした。SI3 の新しい任務を知る事ができました。しかし、それをどのように相手に知らせるかまたどうしたら理解させることが出来るかその術を習得したかったです。この次の機会には是非聞きたいと思います、ありがとうございました。

■渡部 秀樹 氏

今年度講習に参加頂きありがとうございます。
昨年同様村山さんの講師は勉強になります、新規もいましたけど内容的には改めて審判だったりインストラクターは奥深さが実感し考える事が大事だと思いこれからも審判だったりインストラクターとして心掛けて活動したいと思います。

■西川登 氏

今回の更新講習を終えて
現在のサッカーの指導やレフェリングの主流となっている 4 局面と球際に関して学び、今までの自分のレフェリングなどを思い返し、どういった部分が重要なのかを再認識し、また、他の受講者の意見などから自分では気づいていなかった視点など、今後のレフェリングやインストラクターとしての指導に非常に参考になる講習会でした。

■志村勝巳 氏

村山様
お世話になります。室蘭地区の志村です。先日は遠方より講師お疲れ様でした。来年度よりラーニングでの講習との事でより多くの研修を受講したいと思います。
昨年同様に上級インストラクターの講義を受講してより良い情報がわかり大変勉強になりました。感謝申し上げます。

■佐藤大樹 氏

まず初めにオブザーバーとしてですが S3I 更新講習会に参加させて頂きありがとうございました。
今まで審判員として試合に関わり漠然と判定していた部分がかかなりあったなと思うばかりでした。
今回の村山さんの講習では 4 局面のところが印象に残っておりそこでは 4 局面では気に掛ける部分を変えないといけないと感じました。今年もサッカーシーズンも残り僅かですが選手に信頼されるレフェリングを目指して頑張ろうと思います。

■川人 隆博 氏

この度は、村山指導者部部長様の講義をお受けし、大変感銘を受けました、ありがとうございました。特に 4 局面や球際の部分は、頭では分かっていたものの言葉にすることが難しく、しかしながら審判員を指導する立場であれば、局面などを分けて説明することにより、具体的に奥深く指導できるのではないかと感じました。講義では、動画で幾度も確認できますが、本番では、その場その場の判断であり、より指導の難しさとターゲットに絞った指導の必要性を理解できました。今後の指導の際は、4 局面や球際の部分で的確にターゲットを絞り、指導することにより理解しやすさを目指したいと思っています。

■大岩真由美 氏

村山さんの講義では、3 級インストラクター制度についての最新情報を共有していただき、今後について考える良い機会となりました。また、講義内容では「事象分析」といって、審判員が判断・判定するまでの「考慮事項」を深掘り(確認)する時間を設けて頂きました。とても解りやすく、一つ一つ丁寧に説明して頂き慣れていないインストラクターも一緒に理解を得ながら進めて頂きました。また、1 分程度の映像を 2 つ見て、審判員にアドバイスするなら「何を伝えますか？」という講義も、明らかに対象的な映像を使用することで違いに気づき、それぞれのアドバイスの方法を知れたことも今回集まったインストラクターの皆さんには理解が深まったと思います。室蘭地区に限らず、道内の 3 級インストラクターの皆さんが当たり前に持って欲しい技量(考慮事項の深掘りする力)が一人でも多く備わってくれること、そしていかに審判員に勇気や自信を与え、審判することが「楽しい！」と思えるような寄り添い方が出来るインストラクターが増えることを期待しています。とても有意義な講習会をありがとうございました。

■菅野 博 氏

講義の内容について、私の中でいくつか学びがありました。まずは、事象の分析についてです。その中の、「考慮事項」という意思決定するために必要な部分についてです。私自身、レフリーをやっている時に、事象を見てはいるものの明確な判断材料が不足しており、判定の根拠が曖昧でした。考慮事項を整理することで、現場でも自信を持って判定できると思います。自分のレフェリングだけではなく、指導する立場としても正しい判定ができる審判を育てるためにもしっかり理解を深めていきたいと思いました。また、身体的接触の認知の部分です。より具体的に抑えるということが重要だということですが、判定の根拠にもなります。なんとなくではなく、明確にどういう身体的接触が起きたかを把握することに努めることの大切さを学びました。再来週は、プレゼンがありますので、村山さんの話し方や受講者との接し方も大変勉強になりました。そういったところも意識してみたいと思います。
ありがとうございました。

